

ひふみのあゆみ



ひふみらいと 追加型投信/内外/資産複合

2023年3月度 月次ご報告書

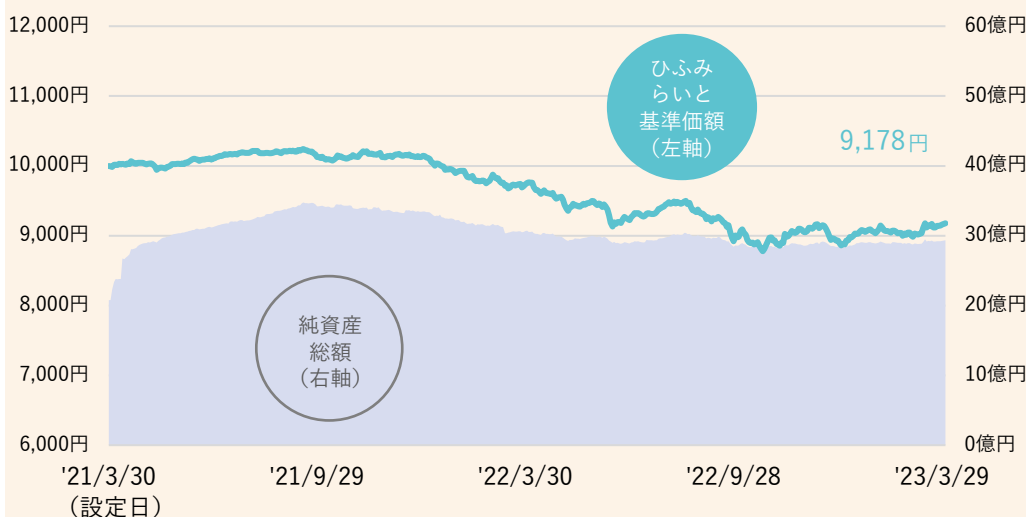
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
資産形成のパートナーに「ひふみらいと」をお選びいただき、ありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2023年3月31日

運用実績

基準価額等の推移（日次）



※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

※「ひふみらいと」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」90%、「ひふみ投信マザーファンド」5%、「ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）」5%を維持することを目指して運用を行います。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用実績」をご覧ください。

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみらいと	1.47%	3.32%	2.24%	-5.90%	-	-8.22%

ひふみらいとの運用状況

基準価額	9,178円
純資産総額	29.34億円
受益権総口数	3,196,702,582口

ひふみらいと 投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	89.59%
ひふみ投信マザーファンド	4.89%
ひふみワールドファンド*	5.02%
現金等	0.50%
合計	100.00%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第1期	2022年4月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+133円
-------------	-------

〔組み入れファンド別変動要因内訳〕

ひふみグローバル債券マザーファンド	+135円
ひふみ投信マザーファンド	+3円
ひふみワールドファンド*	-1円
信託報酬・その他	-5円

〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕

債券	+152円
株式・投資証券	+10円
為替	-28円
信託報酬・その他	-1円

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

ひふみグローバル債券マザーファンドの状況	
純資産総額	242.01億円
組み入れ銘柄数	36銘柄

種別比率	
国債	52.60%
社債	23.38%
住宅ローン担保証券	6.25%
特殊債	2.87%
地方債	1.83%
国際機関債	1.07%
債券先物取引	-12.24%
現金等	24.23%
合計	100.00%

為替ヘッジ比率	
	96.04%

組み入れ上位5通貨 比率	
1 米ドル	40.12%
2 日本円	22.06%
3 ユーロ	20.67%
4 中国元	2.87%
5 オーストラリア・ドル	1.83%

ポートフォリオ特性値	
最終利回り	3.12%
デュレーション	7.7

格付比率	
AAA	26.50%
AA	4.15%
A	50.34%
BBB	7.02%
BB以下	-

資産別比率	
海外債券	65.95%
国内債券	22.06%
債券先物取引	-12.24%
現金等	24.23%
合計	100.00%

組み入れ上位5カ国 比率	
1 アメリカ	40.85%
2 日本	24.16%
3 イタリア	6.56%
4 スペイン	6.49%
5 中国	2.87%

組み入れ上位10銘柄 比率					
銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率
1 日本国債（30年）	国債	日本	日本円	2052/12/20	11.61%
2 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	7.76%
3 イタリア国債	国債	イタリア	ユーロ	2033/5/1	6.56%
4 スペイン国債	国債	スペイン	ユーロ	2033/4/30	6.49%
5 米国住宅ローン担保証券	住宅ローン担保証券	アメリカ	米ドル	2052/3/25	4.09%
6 日本国債（20年）	国債	日本	日本円	2042/12/20	3.96%
7 バンク・オブ・アメリカ	社債	アメリカ	ユーロ	2026/9/22	3.59%
8 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/8/15	3.36%
9 三井住友フィナンシャルグループ	社債	日本	米ドル	2027/1/14	3.26%
10 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/5/15	3.04%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいくほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」「資産別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」は、現物債券について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、純資産総額に対する為替予約評価額と円貨資産額の合計の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

ひふみ投信マザーファンド 運用状況

ひふみ投信マザーファンドの状況	
純資産総額	7,259.30億円
組み入れ銘柄数	291銘柄

資産配分比率	
国内株式	87.83%
海外株式	4.43%
現金等	7.74%
合計	100.00%

市場別比率	
プライム市場	85.57%
スタンダード市場	1.86%
グロース市場	0.40%
その他海外株	4.43%
現金等	7.74%
合計	100.00%

組み入れ上位10業種 比率	
1 電気機器	12.75%
2 情報・通信業	12.04%
3 銀行業	7.58%
4 サービス業	6.53%
5 機械	5.21%
6 食料品	5.03%
7 化学	4.63%
8 小売業	4.61%
9 卸売業	4.14%
10 建設業	3.86%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。
大型(3,000億円以上)
中小型(300億円以上、3,000億円未満)
超小型(300億円未満)

組み入れ上位10銘柄 比率					
銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1 アドバンテスト	6857	大型	プライム市場	電気機器	3.13%
2 ソニーグループ	6758	大型	プライム市場	電気機器	2.00%
3 ディスコ	6146	大型	プライム市場	機械	1.80%
4 日本電信電話	9432	大型	プライム市場	情報・通信業	1.78%
5 東京海上ホールディングス	8766	大型	プライム市場	保険業	1.74%
6 インターネットイニシアティブ	3774	大型	プライム市場	情報・通信業	1.70%
7 GMOペイメントゲートウェイ	3769	大型	プライム市場	情報・通信業	1.65%
8 味の素	2802	大型	プライム市場	食料品	1.63%
9 三菱UFJフィナンシャル・グループ	8306	大型	プライム市場	銀行業	1.56%
10 伊藤忠商事	8001	大型	プライム市場	卸売業	1.53%

ひふみワールドファンド* 運用状況

純資産総額	223.18億円	投資信託財産の構成	
		ひふみワールドマザーファンド	99.72%
		現金等	0.28%
		合計	100.00%

ひふみワールドマザーファンド 運用状況

ひふみワールドマザーファンドの状況	
純資産総額	2,806.44億円
組み入れ銘柄数	142銘柄
資産配分比率	
海外株式	93.72%
-	-
現金等	6.28%
合計	100.00%

組み入れ上位10カ国 比率	
1	アメリカ 65.63%
2	中国 5.04%
3	ドイツ 4.75%
4	スイス 3.68%
5	イタリア 2.49%
6	台湾 2.24%
7	アイルランド 1.94%
8	フランス 1.79%
9	オランダ 1.68%
10	イギリス 1.30%

組み入れ上位10業種 比率	組み入れ上位10通貨 比率
1 ソフトウェア・サービス 19.94%	1 米ドル 74.59%
2 半導体・半導体製造装置 10.93%	2 ユーロ 7.86%
3 資本財 9.66%	3 スイス・フラン 3.68%
4 自動車・自動車部品 9.28%	4 中国元 2.11%
5 食品・飲料・タバコ 7.07%	5 イギリス・ポンド 1.46%
6 一般消費財・サービス流通・小売り 4.89%	6 台湾ドル 1.20%
7 耐久消費財・アパレル 4.89%	7 香港ドル 1.14%
8 メディア・娯楽 4.81%	8 ノルウェー・クローネ 0.63%
9 テクノロジー・ハードウェアおよび機器 4.49%	9 オーストラリア・ドル 0.47%
10 消費者サービス 3.68%	10 スウェーデン・クローナ 0.34%

組み入れ上位10銘柄 比率					
銘柄名		国	通貨	業種	組入比率
1	COMPAGNIE FINANCIERE RICHEMONT SA	スイス	スイス・フラン	耐久消費財・アパレル	2.71%
2	MOTOROLA SOLUTIONS, INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.67%
3	FERRARI NV	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	2.49%
4	TETRA TECH, INC	アメリカ	米ドル	商業・専門サービス	2.48%
5	PALO ALTO NETWORKS, INC.	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.26%
6	INTUIT INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.21%
7	DR. ING. H.C. F. PORSCHE AG	ドイツ	ユーロ	自動車・自動車部品	2.13%
8	ORACLE CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.03%
9	ACCENTURE PLC	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.94%
10	MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.70%

* 「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」
「組み入れ上位10銘柄比率」の国
は、原則として発行国で区分して
おります。なお、国には地域が含ま
れます。

※「組み入れ上位10業種比率」
「組み入れ上位10銘柄比率」の業
種は、株式における上位業種を表
示し、原則としてGICS（世界産
業分類基準）の産業グループ分類
に準じて表示しております。

ひふみグローバル債券マザーファンド 基準価額の推移（日次）



ひふみグローバル債券マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
	1.66%	3.09%	1.88%	-6.09%	-	-8.28%

ひふみ投信マザーファンド 基準価額の推移（日次）



ひふみ投信マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
	0.69%	5.17%	6.92%	0.38%	-	-8.85%

ひふみワールドマザーファンド 基準価額の推移（日次）



ひふみワールドマザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
	-0.34%	8.51%	9.70%	0.02%	-	11.63%

※「ひふみらいと」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「ひふみらいと」の当初設定日の前営業日（2021年3月29日）を10,000として指数化して作成、算出しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「ひふみらいと設定来」は、「ひふみらいと」の設定日の前営業日（2021年3月29日）（「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時）を起点として算出しております。

※「ひふみらいと」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

ファンドに組み入れている「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」の下落がマイナスに影響したものの、「ひふみグローバル債券マザーファンド」および「ひふみ投信マザーファンド」の上昇がプラスに寄与したことで、基準価額は前月末に比べて1.47%上昇しました。

【ひふみ投信マザーファンド】

米国のシリコンバレー銀行の破綻をきっかけに米欧の金融システム不安が高まり、日本を含む世界の株式市場は一時下落しましたが、各国金融当局の迅速な危機対応を受けて不安が急速に後退し、基準価額は0.69%上昇しました。

【ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）】

米欧で高まった金融システム不安は各国金融当局の対応を受けて急速に後退し、世界の株式市場は上昇したものの、為替市場で円高ドル安の動きが強まったことなどから、当ファンドの基準価額は0.36%下落しました。

【ひふみグローバル債券マザーファンド】

金融システム不安を受けて世界的に金利が大きく低下（債券価格は上昇）しましたが、不安後退後も世界の金利は概ね横ばい圏での推移となり、当ファンドの基準価額は1.66%上昇しました。

米欧の金融当局は金融システム不安の封じ込めに成功しましたが、景気悪化懸念が強まりやすい長短金利差の逆転が深まった状態は続いています。引き続き皆様からお預かりしている大切な資産を全力で運用してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（4月3日）



ひふみらいと
ファンドマネージャー
岡田 泰輔

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社J P X総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

インフレ警戒モードだった2月から債券市場は一変しました。シリコンバレー銀行の破綻に端を発し、欧州ではクレディ・スイスが経営危機に陥りUBSに救済買収されました。短期的には金融システムの危機的状況がどこまで広がるか、中長期的には融資が滞りがちになることから景気への悪影響が懸念されています。

米国10年金利は3.47%に急低下し、2023年末の短期（FF）金利の織込みも4.35%に低下しました。市場は年末までに相応の利下げを織り込んでいますが、直近のFRB（連邦準備制度理事会）予想は現状から25bp利上げしたレベル（おおよそ5.1%）にとどまっており大きな乖離が生じています。需給の阿やとも見られますが、危機になった場合の利下げ幅は大きなものとなる可能性が高く、利下げ織り込みが大きく修正されるのは容易ではなさそうです。

独10年金利は2.29%に低下しました。クレディ・スイスの件はあったものの金融システム不安の欧州への影響は限られているという見方が優勢で、今後の利上げ幅も依然として織り込まれています。

保有しているドルおよびユーロ建ての銀行社債に関しては、G-SIBs（グローバルなシステム上重要な銀行）のシニア債（リスク水準の低い債券）であり、対国債スプレッドは小幅なワイドニング（スプレッドの拡大）にとどまっています。

日本への影響ですが、金融システム不安が生じる懸念は少ないものの、YCC（イールドカーブコントロール）修正に向けたポジションの整理もあって、金利は低下しました。10年金利は0.33%、20年金利は1.01%で月末を終えました。YCCに関しては、①日銀による情勢判断等がYCCへの投機的な動きにつながる可能性が高く新総裁のコミュニケーションに支障が出ること、②欧米で実際に利下げが始まるほど情勢が悪化した場合には修正が難しくなることから、我々は引き続き4～6月の早いタイミングでの撤廃もしくは形骸化を予想しています。金融システム不安の影響でYCC修正が後ずれするという声もありますが、3月29日の内田副総裁の国会での答弁はサプライズでの修正を否定しないものであり、我々のシナリオをサポートするものでした。

引き続き全力で運用してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。
(3月31日)



ひふみグローバル債券
マザーファンド
ファンドマネージャー
福室 光生

債券ってなに？～債券の基礎知識～【YouTube】

ひふみらいとがひふみグローバル債券マザーファンドを通じて投資している「債券」について、いまさら聞けない基礎知識を約10分で解説する動画をYouTubeの公式チャンネルにて好評配信中です。

専門用語をできるだけ使わずに、当社社員が分かりやすくお伝えしております。

ぜひご視聴いただき、債券運用への理解の一助としていただければ幸いです。



レオス・キャピタルワークス
【投資信託「ひふみ」公式】YouTubeチャンネル
登録者数2万人突破！
チャンネル登録お願いします！

2023年3月は中規模の金融破綻が見られて、リーマンショック以来の金融危機再来の懸念が台頭しました。米国の中堅銀行のシリコンバレー銀行が経営破綻し、それにともない地域銀行に対する不安感が台頭しました。また、その余波としてクレディ・スイスが信用不安に陥り、同じくスイスのUBS銀行が救済買収をすることになりました。一方で米国の金融当局の速やかな対応と各国金融当局の連携で信用不安は徐々に沈静化して、現在のところ株価は回復傾向です。

日本の株式市場もその余波を受けて大きく下落しましたが、金融不安の沈静化とともに徐々に回復をしています。ただし金融株はその余波を受けて大きく下落しました。ひふみ投信マザーファンドは金融株をオーバーウエイトにしていたましたが、今回の金融不安を受けてその比率を下げました。そのおかげで、今月は少しTOPIXに対して下回りましたが、一方で速やかな金融株の削減により下落幅をおさえることができました。

一方でコロナ禍の沈静化とともにインバウンド観光が戻りはじめ、国内においても人の移動が活発化し始めました。これは内需企業や観光産業にとっては大きな恩恵になります。ひふみ投信マザーファンドもいわゆるリオープン関連企業のウエイトを積み増しています。また、長らく振るわなかった半導体関連企業も復調の兆しを示しており、これからはよりポートフォリオを守備よりも攻撃型に変えていくことによってお客様に喜んでいただける運用をしていこうと思っています。

この結果、3月のTOPIX（東証株価指数、配当込み）が前月比+1.70%に対しひふみ投信マザーファンドは+0.69%でした。4月以降しっかり巻き返しを図り、お客様に喜んでいただける運用をしていこうと考えております。

これからも全力で運用をしますので、何卒ひふみらいとをよろしくお願いいたします。

(4月6日)



ひふみ投信マザーファンド
ファンドマネージャー
藤野 英人

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

思ったよりも悪くない

3月の株式市場は、米シリコンバレー銀行の破綻による金融不安と景気後退懸念による投資家心理の悪化で一時下落し、為替市場も下期の米金利上昇の打ち止め～利下げ期待を織り込み一時円高に振れましたが、各国による迅速な流動性供給や金融機関への支援により市場は月末にかけて落ち着きを取り戻しました。このような中、ひふみワールドマザーファンドも3月前半は非常に厳しい推移となりましたが、月末にかけて株式市場が徐々に値を戻したことで、また投資対象の中心が私たちが既にポートフォリオに組み入れていたキャッシュ創出力の高い企業群へと移ったことが追い風となり、為替の円高基調を補い3月のパフォーマンスは前月比ほぼ横ばいとなりました。

さて注目されていた3月のFOMC（連邦公開市場委員会）では事前予想通りの0.25%利上げとなりました。利上げの一時棚上げや利下げとなることはありませんでしたが、結果的にそれが良かったと見ています。もし利上げを実施しなければ「金融システムの不安はそこまで深刻なのか」という疑心暗鬼を増幅し、更なる金融ドミノ倒しを誘発したかもしれないからです。FRB（連邦準備制度理事会）とFOMCが連銀法によって金融政策の運営にあたり求められているのは「物価の安定」と「雇用の最大化」という2つの法的使命であり、それは世界恐慌により大量の失業者を生んだ反省から雇用最大化の義務に政府が責任を負うとしたことに始まります。従って既に金融システムの維持に対し迅速な対応が図られている現状では利下げに転じる必要はなく、実際に株式市場も23日以降に上昇傾向に転じていることから今回の決定を信任したと見るべきでしょう。

「思ったよりも悪くない」、そんな雰囲気相場に漂っています。ただ、今後は実体経済への影響には注意が必要です。銀行による融資基準の厳格化や金利上昇によるバリュエーションの低下を契機とするスタートアップ企業の資金調達の困難さなどが今回の金融不安により加速し、それらが実体経済に影響を及ぼすリスクです。米企業経営者との面談では融資基準厳格化の影響は今のところ確認されていませんが、一部米ベンチャー企業の資金調達の際の企業評価が2年前の約半分になっているケースもあり警戒しています。

このような環境下で、我々はチーム一丸となって景気後退を含めたさまざまなリスクに対応できる全天候型の運用を、引き続き心がけてまいります。ひふみらいとをどうぞよろしくお願いいたします。

（3月31日）



ひふみワールドマザーファンド
ファンドマネージャー

湯浅 光裕



米国の中堅銀行破綻で投資環境見通し急変 金融政策転換(利上げ停止、利下げ)観測急浮上

米国の複数の中堅銀行が3月前半に経営破綻しました。規制当局(米財務省、FRB、FDIC)は金融危機回避のために預金全額の保護や緊急流動性供給措置を発動しましたが、世界金融大手クレディ・スイス(CS)の信用不安に波及しました。これに対し、主要6中央銀行は協調してドル資金の供給拡充を少なくとも4月末まで行なうと発表、スイス政府・中央銀行の働きかけでスイス最大手のUBSがCSの救済合併を決定、当局による金融危機防止策の発動で金融不安は後退し、現状小康状態にあります。投資環境面では米金融政策の転換(利上げ停止、利下げ)観測が台頭するなど急変の様相です。今回の金融ショックに対して、米国のS&P500種など平均株価は金融政策転換観測が波乱を吸収して底堅い展開ですが、地方銀行株は急落後の安値圏で推移しています。

米国の銀行破綻の構図は、コロナ禍対策の「巨額の財政出動(家計や中小企業への現金給付)と金融緩和」によって銀行の預金が急増、半面で有価証券投資・貸出(低利の債券投資、固定金利融資)も増大しましたが、「巨額の財政出動と金融緩和」が物価高騰を招き、2022年春以降の強硬な金融引き締め(金利急騰、さらに長短金利逆転・逆ザヤ)で一転、預金流出、債券投資や固定金利融資の損失増大を招き、銀行の収益やバランスシートが急激に悪化したことにあります。

80年代半ば以降の米国の金融引き締め局面を振り返ると、最終盤で金融危機や、新興国の通貨危機が発生するケースが殆どでした。前者の典型が2008年の世界金融危機(GFC)であり、後者が97年のアジア通貨危機でした。そして、いずれのケースも金融政策は利上げの停止、利下げに政策転換し、危機対応を図りました。米国の金融政策は今回、インフレ抑制のために引き締めに継続するのか、金融不安抑制のために利下げに転じるのか、難しい選択を迫られています。金融政策の転換(利上げ停止、利下げ)時期が接近していると予想します。

今後の米国経済、そして世界経済を占う上で、預金が流出し、経営環境が厳しい米国の銀行がどの程度、与信を厳格化するのが注目されます。与信厳格化は信用収縮的な引き締め効果を現出し、特に不動産関連融資の抑制は昨今の米物価高騰の一因になっている住居費(家賃)の抑制に効くなど、物価減速の流れを後押しするでしょう。また、信用収縮は景気に対して強い重石になるため、信用収縮の兆候が見えてくれば、金融政策は一気に緩和に転じるでしょう。

世界金融危機時と比べて今回は、米国の家計や企業が過剰債務・過剰投資に陥っておらず相対的に健全だと推察されます。また、世界経済には①コロナ収束に伴う経済再開とサービス消費の同時的拡大、②ハイテク中心に東西(米中)両陣営のサプライチェーン再構築・投資ブームという強いドライバーがあります。主要国経済・企業収益(予想EPS)は深刻な不況(景気後退)を回避しながら軟着陸する可能性があるかと推察します。2022年は米国や欧州株が弱気相場となりましたが、2023年は市況好転、日本株は約2年間のボックス相場を上抜ける展開が期待されます。米金融政策が教訓を活かし大胆な利下げで金融危機を回避できるかがカギになりそうです。

米国株をはじめ現状の主要国株式は、米金融政策転換の先取相場の様相です。物色面では世界的な経済再開で恩恵を受けるサービス消費関連やシリコンサイクル(世界半導体出荷額)の底入れ接近観測からハイテク株が市場人気を集めるなど、成長株優位化の流れになりそうです。

(4月4日)

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

少しずつ暖かくなってきましたが、春といえば何を連想しますか？



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役会長兼社長
最高投資責任者

正月をむかえるときにはなぜか新しい年を迎える喜びしかないですが、春になると嬉しさ以上に悲しみも広がります。おそらく、4月が卒業や入学などのイベントがあり、新年度を迎える気持ちが強く、正月よりも一年の重みを感じるからでしょう。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役副社長
未来戦略部長

三寒四温を体感し、そぼふる雨を眺めながらこぬか雨、春時雨など表現の豊かさを思い起こします。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
運用本部長
株式戦略部長
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

タケノコです。山歩きが好きな親戚から送ってもらったものを、自分で茹でて炊き込みご飯などを作っていました。最近は手間暇掛けてきちんと調理できておらず、ちょっと寂しい気もします。



Yatsuo Hisashi
八尾 尚志
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

「春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、少しあかりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる」という文章が頭に浮かびます。枕草子はこの後「夏は夜」、「秋は夕暮れ」、と続くわけですが、これらはすべて「モノ」ではなく「時間」という全ての人に等しく与えられ、そして時代を超えて必ず感じられるものです。そこに趣があるとする清少納言の美意識と表現の素晴らしさに本当に感心するのです。



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

花粉、桜、入学式、新入社員、出会い、そして期初ガイダンスの決算発表シーズンを想起します。新入社員で思い出したのですが、4月に突然現れ、5月にはあの初々しい集団はいなくなりますよね。何かの集団に溶け込むのにかかる期間は1ヶ月くらいなんではないでしょうか。



Wei Shanshan
韋 珊珊
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

万物が蘇り、木々に色鮮やかな新芽が出て、希望と変化に満ちた美しい季節です。厳冬を終え、これからの一年～と考えると、いつもわくわくします。

運用メンバーからのメッセージ



Takahashi Ryo
高橋 亮

シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

夏を連想します。とにかく蒸し暑くて不快な夏が嫌いすぎるあまりに、春になると「ああ、もうすぐ夏が来る…」と陰鬱な気分になります。それだけ夏が本当に苦手です。冬が終わると、ひたすら秋の便りだけを楽しみに待つことになります。



Senoh Masanao
妹尾 昌直

シニア・アナリスト

心機一転、始まりを連想します。運用で勝っても負けても、心あらたにまた頑張ろうと思わせてくれる季節です。また周囲が賑やかになることもあり、なんとなく自分も落ち着かず浮かれてしまう傾向があるので、身を引き締めていこうと思う季節でもあります。



Oshiro Shintaro
大城 真太郎

シニア・アナリスト

花粉症の苦しみをプロ野球で紛らわす季節



Naito Makoto
内藤 誠

シニア・アナリスト

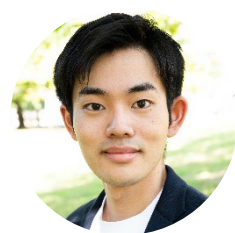
上野公園の桜を思い浮かべます。家からも近いので3月後半になると見に行くようにしています。学生にとっては新学期、社会人にとっては新年度と、桜を見るたびにいつも新しいスタートラインに立つ気持ちになります！



Moriyama Haruki
森山 治紀

アナリスト

先日近所の川を通りかかったので覗いてみると、冬眠明けのスッポンがゆっくりと泳ぐ様子を確認できました。春ですね。



Matsumoto Ryoga
松本 凌佳

アナリスト

太陽の光を浴びながら、景色の良いところを自転車でのんびり進むことが好きです。そういう意味では、手袋をしなくても手がかじかむことがなくなったとき、春を感じます。春の暖かさに包まれていると、甘いものが食べたくなります。ソフトクリームやお団子、暑いくらいの日ならかき氷が脳裏に浮かびます。

運用メンバーからのメッセージ



Fukumuro Mitsuo
福室 光生
債券戦略部長
シニア・ファンドマネジャー

新卒の前でお話する機会がありましたが、自分も頑張らねばという気持ちになりました。昔話をしないよう常に前を向きたいと思います。



Chiba Toshinobu
千葉 俊信
債券戦略部
シニア・ファンドマネジャー

タラの芽の天ぷらやウドなどの山菜が食事ですと春を感じます。年度の始まりなので、人事異動後の会社の状況を見つつどんな仕事をしようか考えるタイミングにしています。



Takabatake Mikio
高島 幹夫
債券戦略部
シニア・クレジットアナリスト

春といえば「お花見」を連想します。若い頃はよく行きましたが、予定日がいにくの雨だったり、屋外なので花粉症の症状が悪化したり、井の頭公園でお花見をしたときはヤンキーに絡まれたりと、個人的にはあまり良い記憶はないです。昼間に散歩しながら眺めるぐらいのお花見が私にはちょうどいいですね。



Okada Taisuke
岡田 泰輔
未来戦略部
シニア・ファンドマネジャー

花粉です。昔から花粉症の自覚症状があって先日、アレルギー検査を受けました。アレルギー体質であることは確認できたのですが、スギ花粉・ヒノキ花粉ともに抗体値が低めで驚きました。自分はどうやら「思い込み花粉症」みたいです。



Homma Yuki
本間 雄揮
アナリスト

4月になると年齢を1つ重ねることが頭に浮かびます。誕生月の6月まで心の準備期間にしています。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

春は桜、ハナミズキ、つつじなど自宅周りの草木が一斉に花咲く季節ですが、1990年頃に比べて2〜3週間早く花咲くことに驚いています。鰹やタケノコ、空豆・・・と美味しい食材が楽しみな季節です。昨年度は米利上げに終始しましたが、新年度は利下げと株価好転に期待したいです。



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
マーケットエコノミスト

小学生の頃、次の学年に上がるとゲームのレベルアップのようにととても成長するのだろうと常日頃思って生活していました。しかし実際4月に学年が1つ大きくなっても、それだけでは自分のココロもカラダも全然成長しないことに気づきました。人間そんなにすぐには変わらないんだなぁと毎年春に感じていました。

ひふみらいとの特色

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみワールドの特色（ご参考）

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- ・ 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- ・ 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられ、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身の判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください

お申込メモ

	ひふみらいと	ひふみ投信（ご参考）	ひふみワールド（ご参考）
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	追加型投信／内外／株式	追加型投信／海外／株式
当初設定日	2021年3月30日	2008年10月1日	2019年10月8日
信託期間	無期限		
決算日	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	換金申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目から支払われます。	換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。	
購入・換金 申込受付 不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。	—	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみらいと	ひふみ投信（ご参考）	ひふみワールド（ご参考）
運用管理費用 （信託報酬）	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して 年率0.55%（税込） を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用))：純資産総額に対して年率0.0022%（税込） 実質的な負担※：純資産総額に対して 年率0.5522%（税込）程度	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.078%（税込） を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.628%（税込） を乗じて得た額
	信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。 ※投資対象ファンドを基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。		
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）以内を乗じて得た額。監査費用は監査法人との契約条件の見直しにより変更となる場合があります。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。		
その他費用・ 手数料	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	
	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。		

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：（ひふみらいと）三井住友信託銀行株式会社
（ひふみ投信）三井住友信託銀行株式会社
（ひふみワールド）三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先



レオス・キャピタルワークス株式会社
コミュニケーション・センター
電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp
受付時間：営業日の9時～17時
ウェブサイト：https://www.rheos.jp/

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください